

園内研修情報

令和6年度 第1号

令和6年6月7日

金曜日



写真：園内研修の様子

「“学びやすい”のが嬉しい！」 職員が安心してスキルアップできれば、 職員の参画意欲が高まる！」

広島市乳幼児教育保育支援センターの職員が、市内の私立幼稚園を訪問してインタビューしました。

何から始めるとよいのか皆で迷いながら・・・。

○ 訪問した園

私立幼稚園

園児：167人 職員27人

○ 今回お話をしてくださった方

園長先生 教務主任 研究主任



○ インタビュアー

センター職員

センター こちらの園では、職員が意欲的に研修しているとお聞きました。本日は、園の取組についてお聞かせください。よろしくお願いします。

園長・先生方 よろしくお願いします。

センター 早速ですが、最初から職員の皆さんは、研修に前向きだったのですか。また、どのようなことから始めてこられたのですか。

教務主任 自園では、子どもの体力づくりに力を入れているのですが、最初は、何から始めてよいか分からなかったので、各職員が、迷いながら、保育をしながら、手探りで工夫して、まずやってみるという状況でした。

センター なぜ体力づくりに力を入れているのですか。

園長 以前、自園では、子どもの体力不足や思わぬ怪我があり、その原因となっているのは、生活や運動体験の不足であることに職員が気づきました。

そういった子どもたちが、楽しく遊びながら体力を身に付けるために研修をすることにしました。

センター なるほど、職員の皆さんは、子どもの姿に共通の悩みを持っていたのですね。しかし、研修をしてみると、はじめからみんなで“さあやろう！”とはならなかったのではないですか。

園長 そうですね、自園では、まず園内に教務部、生活部を設け、職員がチームになって、園運営に参画してもらえるようにしました。

教務主任 園内にチーム体制ができたことで、自分の感じていたことや考えていることが、園全体に共有しやすくなりました。

センター 園内の風通しも良くなったということでしょうか。ちなみに、先生方はこの職場の職員関係に満足していますか。

両主任 はい！とても満足しています！

センター 声を揃えて答えてくださり、ありがとうございます。（笑）今日、この園に入ってすぐ感じたのですが、職員の皆さんが明るいですね。

園長 そうなんですよ。ありがたいことに、みんな明るくて。

職員が安心して学べる職場に感謝。

研究主任 私は、採用3年目なのですが、初任の頃、分からない時に同僚に相談しやすく、話し合える場が多く、行事や日々の保育について学びやすかったので、安心できたし、嬉しかったです。

センター 安心して働ける職場だから、学びやすかったということですね。

教務主任 私は、勤務年数が10年になります。現在の園長先生が来られる以前は、教務部、生活部などはなかったもので、最初は何のことだか分かりませんでした。しかし、現在では、職場内にそういった役割を持つチームがあることで、職員が自園のことについて、考え、行動できるようになったのだと思います。

センター 以前は違ったのですか。

教務主任 園長先生がこの園に来られた頃は、私も働き始めて数年目でしたが、当時の先輩方の考えを受け、保育活動をしていました。しかし、現在は、みんな同じ目標を持って一緒に考えられる職場になったと思います。

センター 話は少し戻りますが、先生方が一緒に学べる職場になると、園内研修にも変化がありましたか。

園長 園内研修は、研修をすることが目的ではなく、園全体で目標を持って職員が前向きに保育に臨んでくれることが大切だと思っています。職員が前向きになると、研修は自然に充実し、子どもたちの姿にも変化が現れるようになりました。

センター それは、冒頭でお聞きした体力不足や怪我についての課題が解消されたということですか。

園長 随分改善されたと思います。令和5年度で言えば、園の実践をまとめた冊子に詳細を載せましたが、子どものことをよく理解している職員が、楽しみながら研修し、保育を構想・実践する中で、子どもたちは体を動かすことが好きになり、体力の向上を数値でも確認できました。

センター どうやって研修をするのかも大事ですが、職員が意欲的に保育について考えたい園の環境も重要だということですね。

園長 そうかもしれません。現在、どの業界も人材不足に悩まされる時代ですし、働き方に注目が集まっています。だからというわけではないですが、自園では“新採も生き生きと働ける”、“職員が辞めない”そういったことも園の目標にして努力しています。そのために必要ならば、園の雇用制度を見直すことも大切だと考えています。

センター なるほど、職員が安心して学べるように、工夫されているのですね。

園長 余談ですが、自園は事務職員の存在も大変心強く、担任が保育に専念できる要因の一つです。例えば保育に必要な文具などを担任がすぐ使える状態にしてもらうだけでも、職員は働きやすくなりました。また、新規採用者が毎日、他の職員に相談や質問をしたり、計画的に、先輩から研修を受けられる時間を確保したりといった取組も忙しい中ではありますが、工夫して行っています。

センター 園長先生がそのように話をされていますが、お二人の先生（教務主任・研究主任）も、その通りだとおもいますか。

先生方 そうですね。（2人とも笑いながら）

センター インタビュー中も、職場内のいい雰囲気が伝わってきますね。

ところで園長先生、最後に新規採用者の研修時間の確保についてもう少し詳しくお聞きしたいのでお願いします。

柔軟に学びの時間を確保する。

園長 職員は、教材準備、送迎バスの担当など、多忙ですから、新規採用者が学べる時間を固定しないと、なかなか、新規採用者の研修時間が確保できません。そのため、毎日一定の時間を全ての職員が新規採用者の学びの時間に応じられる時間として設けています。※下図参照

センター 全職員が毎日ですか？逆に大変そうですが。

園長 その時間は、必要に応じて、新規採用担当からの話をするもありますが、構えて学ばなくてはならないという時間ではなく、多くは、新規採用者が質問や悩みのある際に、柔軟に使える時間というイメージです。だから、他の職員は、その時間だけは、新規採用者からの質問に集中して応じることができます。また、新規採用者がこの時間を利用して、例えば、ピアノ練習など、個人として必要なことのために、自由に活用できる時間としています。

センター 大変よくわかりました。その時間は、どの先輩方に質問や相談しても大丈夫な時間ということですね。また、自分にとって自由に活用できる時間があることは、新規採用者にとって、ありがたい体制ですね。

また、研修時間の確保や新規採用者や経験の浅い職員の人材育成に悩む園にとって参考になると思います。園長先生、教務主任の先生、研究主任の先生、今日は、お忙しい中ありがとうございました。

園長・先生方 またいつでもお越しください。ありがとうございました。

園児降園後の時程					
時間/曜日	月	火	水	木	金
14:00	園児降園				
14:00～	掃除				
14:30～	週日案、日案作成、学年及び個人の仕事、休憩等				
15:30～	新規採用者の時間（個人の仕事）				
16:00～	職員連絡会	学年・個人の仕事	教材研究・準備	学年会	職員連絡会
17:00	定時チャイム				

新規採用者の時間（赤字部分）

- 15：30～16:00 は新規採用者が、学びたいことを学べる。（先輩への相談、同期との相談、個人でやりたいこと等）
- 園長、新採指導教諭などから、園内新規採用者研修として助言をうける。
- 新規採用者以外の職員は、場合に応じて、新規採用者からの相談に応じるが、そうでない場合には、自身の個人の仕事時間になる。
- この時間を確保することで、園全体で新規採用者の育成を進めることができる。